

協会が所有する図書等を活用できるようになりました

この4月から、会員サービスの一環として協会が所有する図書等を会員の皆様が活用できるようになりました。

協会では、鉄道施設技術を会社や組織を超えて「横」に繋ぐことと、時間軸を超えて「縦」に繋ぐことを重要な役割の一つとして取り組んでまいりました。これまでにその一環として、協会誌は昭和28年の協会発足以来のすべてについて、また、総合技術講演会及び鉄道施設技術発表会の概要集については平成28年度以降のものについて、協会誌のホームページから活用ができるように致しました。(取り扱い方の詳細は、2020年4月号2,3ページを参照)

更に、協会では過去に出版した技術図書等は言うに及ばず、一般に出版された施設関係図書及び国鉄時代からの工事誌や関係会社の社史、諸先輩の自費出版等々の多様かつ貴重な図書等を約2700冊保有しています。これまでこうした図書等は、その存在をご存知の会員の方が、業務上の調査の目的等で来訪され閲覧されることなどはありましたが、ほとんど活用されておりました。

鉄道施設関係の技術は経験工学とも言われており、過去の知識等は現在においても貴重な情報であり、こうした図書等の有効活用はまさに鉄道技術を過去から現在、そして未来へと「縦」に繋ぐ事業として捉えて、検討を進めて来ました。

最近の協会の保有する図書の有効活用事例として、ある先輩からブラジル鉄道技術支援の経験を通じて御自身で作成された「ポルトガル語鉄道用語集」が寄贈されました。氏は程なく他界されましたが、この文献を協会の書庫に眠らせておくのではなく、現在ブラジルで技術支援をしているJR西日本様に貸与する手配を行いました。

本件は協会からの照会によりJR西日本様のニーズがマッチした事例ですが、会員のニーズにより協会の所有する図書等をご活用できるようにすることは、会員の皆様に極めて有効なことと認識しております。

本資料の裏面にある手順等により、協会の保有する図書等のうち、一般に公開することが出来るものについては、ホームページ上から図書名、文献名、著者名で検索し、読みたい図書等について協会にて閲覧できるように致しました。今回の取り組みが、鉄道施設技術を「縦」に繋げることに寄与し、その更なる進歩に少しでもお役に立てることを祈念しています。

なお、ご利用いただいた皆様の声を踏まえて、使い勝手やサービスレベル等について更に改善していきますので、ご意見等をお寄せください。

(一社) 日本鉄道施設協会

専務理事 近藤 邦弘

☆ 保有する図書等の活用方法

1. 図書を探す（検索の方法）

文献調査等の目的で技術図書を探したい場合は、以下の方法により「検索」をして下さい。

- ① ホームページトップ画面『保有図書等検索』をクリックします。
- ② 『図書検索及び閲覧の方法』が表示されます。内容を良く確認して次に進んで下さい。パソコン用の検索システムのURLをクリックして下さい。スマートフォン、タブレット端末の方は「スマートフォン用」のURLを登録して下さい。
- ③ IDとパスワードを入力します。



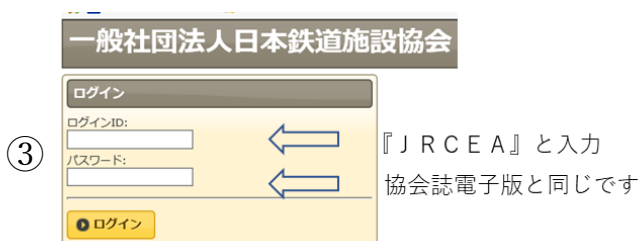
保有図書等検索及び閲覧の方法

◆パソコン用の検索システムへのリンク先

- ② <https://opac.jp.net/Opac/search.htm?s=QgLcl4IKTr>

◆スマートフォン用の検索システムへのリンク先

<https://opac.jp.net/Opac/search.htm?s=QgLcl4IKTr>



④ 簡易検索

フリーワードの検索対象項目は、タイトル、著者、出版社、出版年などです。

漢字あいまい検索機能が組み込まれており、新旧字体、似た漢字、中国語の簡体字・繁体字を同一に検索できます。

⑤ 詳細検索

資料区分やジャンルで絞込みができます。



2. 検索した図書を閲覧する

協会本部で読みたい図書の閲覧ができます。

- ① 事前申請が必要となります。氏名、会員番号、所属名称、閲覧希望日、連絡先、利用目的を明記して、原則、電子メールで申請して下さい。

閲覧申請先アドレス info@jrcea.or.jp

- ② 希望日時をメール等で調整させて頂き、協会が指定した日にお越し下さい。

3. 閲覧利用者の皆様へ（協会本部での受付方法）

- ① 受付で、内線表の「図書閲覧」を呼び出して下さい。担当者が対応します。
- ② 閲覧申込用紙に記入して受付をしたのち、閲覧場所までご案内を致します。その際に身分証明書のご提示をお願いする場合があります。